

公益社団法人 日本地下水学会  
2017年度 第4回 理事会議事録

1. 開催日時：2017年6月24日（土） 13:30～18:45
2. 開催場所：日本工営(株) 九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室  
〒102-0073千代田区九段北1-14-1 九段坂上KSビル
3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：14人 ○：出席、×：欠席

理事	伊藤 浩子	○	理事	蛭原 雅之	○
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	○
理事	坂本 大	○	理事	白石 知成	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	瀬尾 昭治	○
理事	竹内 真司	○	理事	谷口 真人	○
理事	徳永 朋祥	○	理事	中川 啓	○
理事	中島 誠	○	理事	古川 正修	○
理事	町田 功	×			

5. 出席監事数：1人 ○：出席、×：欠席

監事	平山 光信	×	監事	深田 園子	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：理事 谷口 真人

代表理事 谷口 真人は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況：

- ① 5月23日に開催された公益社団法人日本地球惑星科学連合（JpGU）第16回学協会長会議に出席した。議事概要については渉外委員会の報告時に周知する。
- ② 米国National Ground Water Associationのダルシーレクチャに関連してカリフォルニア大学・林先生が来日される。今後、対応について検討していきたい。
- ③ 来年度のIAH2018韓国に備え、IAH2017クロアチア開催期間中にアジアからの参加者を中心にWSを開催する予定であり、韓国IAH代表と準備を進めている。

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 瀬尾 昭治

## 10. 理事会資料：以下の合計28種

- 資料 1 : 2017年度 第4回理事会 議事次第
- 資料 2 (2種) : 2017年度 第2回理事会議事録(案)、第3理事会議事録
- 資料 3 (1種) : 企画委員会資料
- 資料 4 (1種) : 行事委員会資料
- 資料 5 (5種) : 渉外委員会資料
- 資料 6 (3種) : 編集委員会資料
- 資料 7 (2種) : 調査研究委員会資料
- 資料 8 (1種) : 市民コミュニケーション委員会資料
- 資料 9 (1種) : 広報・IT 委員会資料
- 資料10 (2種) : 若手支援・男女共同参画委員会資料
- 資料11 (1種) : 技術者継続教育委員会資料
- 資料12 (1種) : 会計委員会資料
- 資料13 (1種) : 表彰委員会資料
- 資料14 (5種) : 総務委員会資料
- 資料15 (欠番) : 水循環基本計画対応WG資料
- 資料16 (1種) : 水循環基本計画対応による会員増加構想資料

### 【審議事項】

#### 第1号議案：(資料2)

- ・ 2017年度 第2回理事会議事録(案)の内容が確認され、承認された。

#### 第2号議案：(企画：資料3)

- ・ 企画委員長より、7月1日に実施予定のセミナー「津波に伴う地下水影響とその後の回復」の開催準備状況について報告された。現状で参加者が定員に対して非常に少ないことから、理事からの勧誘、メールニュースによる再告知を行う。また、事務局から理事に参加申込状況報告をメールで行うこととした。

#### 第3号議案：(企画：資料3)

- ・ 企画委員長より、8月3・4日に実施予定の「地下水シミュレーション(入門)講習会」の準備状況について報告され、実施内容について承認された。

#### 第4号議案：(行事：資料4)

- ・ 行事委員長より、秋季大会(弘前)での安曇野地下水セッション(仮称)の内容について説明がありディスカッションセッション(DS)の実施の可否、実施方法について審議した。その結果、DS(90分)の実施について承認された。また、セッション名については一般的で判りやすい内容となるように主題と副題を適切に設定することとする。

#### 第5号議案：(行事：資料4)

- ・ 行事委員長より、2017年春季大会若手優秀講演賞の候補者(3名)について報告があり、受賞者

について承認された。

#### 第6号議案：（渉外：資料5）

- ・ 渉外委員長より、**Hydrological Research Letters (HRL)**の合同誌化について説明があり、学会誌の会告に資料5-3を掲載することが提案され承認された。会告に掲載するにあたっては、前文として地下水学会としてのメッセージ（学会・学会員へのメリット等）を記載することとなった。

#### 第7号議案：（編集：資料6）

- ・ 編集委員長より、「若手のページ」WGについて目的、趣旨、運用、メンバー、体制等について提案された。「若手のページ」WGを作ることに承認された。なお、WGの目的や体制等については今後も引き続き検討を続けることとなった。

#### 第8号議案：（調査・研究：資料7）

- ・ 調査・研究委員長より、水循環WGのロードマップによる社会科学系WGについては、名称を「地下水ガバナンス等調査・研究グループ」とすることで承認された。なお、参加者募集の会告案については、研究グループの名称、主旨、発起人等について調査・研究委員長が修正し、メール審議とすることとなった。

#### 第9号議案：（YEPS：資料10）

- ・ YEPS委員長より、「若手地下水研究奨励賞」の選考規定（案）について説明があり、賞の授与について審議された。賞については、助成事業の主旨に則り、平成28年度「若手地下水助成」応募要領に示されているとおり、名称を『平成28年度「若手地下水研究助成」（若手地下水研究奨励賞）』とする。受賞者の選考は、昨年度の助成審査員が5月末に提出された報告書の内容に基づいて行い、YEPS委員会で審査結果をとりまとめて、受賞者（案）を選定し理事会に諮る。YEPS委員長より提示された選考規程（案）の内容については、特に修正意見なく承認された。なお、賞の授与は、今年度の秋季大会で行う。
- ・ 成果報告書に記載の「概要」を、YEPS委員会からの報告として「すぷりんぐ」に掲載する。
- ・ 助成対象者には、成果がまとまった段階で、各自で学会誌にて報告してもらう（応募要領に明記の通り）。

#### 第10号議案：（会計：資料12）

- ・ 会計委員長より、会員数および会費納入状況（6月21日現在）について報告され、督促状の送付（7月10日付）、納入期限（8月15日予定）のスケジュールについて説明があった。審議の結果、督促状については可能な範囲で前倒して送付し、納入期限についても7月31日に前倒しすることとし、次回理事会で会費納入状況について報告することとなった。

#### 第11号議案：（表彰：資料13）

- ・ 表彰委員長より、表彰規程の一部改訂案（正会員、準会員の区別の明確化等）について説明された。各賞の対象（「論文」か「個人」）等、規程の論点を整理して次回理事会で審議することとなった。

**第 12 号議案：**（総務：資料 14）

- ・ 総務委員長より、特別会員から自社営業ページへのリンク貼り付けの依頼があったことが紹介され審議した。当該リンクは営業目的の広告であると理解されるため、無償でのリンク掲載はできないことが確認された。特別会員のHP記載ルールとして、「会社名のあとに25文字の公告を記載することができる」ことから、このルール内での公告が可能であることを先方に伝えることとする。

**第 13 号議案：**（総務：資料 14-3）

- ・ 総務委員長より、「NPO法人地下水・地下熱資源強化活動研究会」の主催者から「地下熱利用に役立つ地下水解析講習会」への共催の依頼があったことが報告され、共催は承認された。本講習会の内容の詳細については別途確認することとする。

**第 14 号議案：**（総務：資料 14-4）

- ・ 総務委員長より、入会者リストについて報告があり、会員の入会について承認された。

**第 15 号議案：**（総務：資料なし）

- ・ 総務委員長より、平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦（1機関につき2名の推薦可）について、和田氏（IIASA）より若手科学者賞への推薦依頼があったことが紹介された。6月末までに3名以上から推薦依頼がない場合には和田氏を推薦することが承認された。3名以上から推薦依頼があった場合には、メール審議で推薦者を決定することとした。

**【報告事項等】**

**1. 企画委員会（資料 3）**

- ・ 企画委員長より、企画委員会メンバーについて報告された。
- ・ 企画委員長より、5月19日に実施されたセミナー「グローバル地下水研究の現状と課題」について報告された。
- ・ 企画委員長より、「はじめての揚水試験講習会」の開催（10月5・6日開催予定）についての検討・準備状況について報告された。
- ・ 企画委員長より、水循環関連シンポジウムの計画の現状について報告があり、企画案を募集するとの依頼があった。
- ・ 企画委員長より、2017年度第1回企画委員会（6月10日実施）について報告された。

**2. 行事委員会（資料 4）**

- ・ 行事委員長より、2017年春季大会の実施結果について報告された。
- ・ 行事委員長より、10月12～14日に実施予定の2017年秋季大会（計画）について報告された。

**3. 渉外委員会（資料 5）**

- ・ 渉外委員長より、HRL誌運営委員会（5月23日、WEB会議）の内容について報告された。
- ・ 渉外委員長より、HRL誌運営委員会の分担金（年額：地下水学会12万円）を7月1日から2ヶ月以内に支払う必要があることが報告された。分担金の支払いについてはすでに審議済みで了承されている。

- ・ 渉外委員長より、PEPS編集委員会（5月22日）の内容について、報告された（資料なし）。
- ・ 代表理事より、2017年5月23日に実施された日本地球惑星科学連合（JpGU）第16回学協会長会議（資料5-4）については報告された。各学会の意見を反映しやすくする目的で学協会長会議幹事会を組織化すること、加えて代議員数を学協会からの枠を確保するため150名とすることが報告された。学協会長会議幹事会には10学会が毎年選出され、今年は水関連学会として水文・水資源学会が選ばれた。今後、この枠で地下水学会も幹事会に選出されることになる。また、代議員としては大気・海洋・水関連から合計30名、各分野から10名選出されることになる。その他、日本学術会議の議事報告や、EGUとの関係等について報告があったことが紹介された。

#### 4. 編集委員会（資料6）

- ・ 編集委員長より、編集委員のメンバーに関して報告された。
- ・ 編集委員長より、最新号学会誌（第59巻2号：5月号）出版に関して報告された。
- ・ 編集委員長より、次号学会誌（第59巻3号：8月号）の発行計画について報告された。
- ・ 編集委員長より、ロードマップに基づく今年度計画（EMの強化、特集・誌面講座の強化、若手ページの開設等）について報告された。
- ・ 編集委員長より、EMの運用について報告された。EM強化推進WGを設置し、マニュアルの作成、メリットの発信等を実施していくことについて報告された。
- ・ 編集委員長より、学会誌の「名水（訪問記）」については1～2年後には1年2号体制とし、その代替として「地域論文」をあらたに設けることで検討していることについて報告された。

#### 5. 調査・研究委員会（資料なし）

- ・ 調査・研究委員長より、第1回調査・研究委員会（5月20日実施）について報告された。
- ・ 調査・研究委員長より、第2回熊本地震対応調査・研究グループの会合（5月19日）について報告された。

#### 6. 市民コミュニケーション委員会（資料8）

- ・ 総務委員長（代理）より、2016年度委員会活動実績について報告された。
- ・ 総務委員長（代理）より、2017年度委員会活動予定について報告された。

#### 7. 広報・IT委員会（資料9）

- ・ 広報・IT委員長より、委員会の活動（HP更新、理事会議事録掲載）について報告がされた。
- ・ 広報・IT委員長より、2017年度第1回委員会（5月9日）について報告された。
- ・ 広報・IT委員長より、ウェブ・アクセス状況について報告された。

#### 8. 若手支援・男女共同参画委員会（YEPS）（資料10）

- ・ YEPS委員長より、若手交流会（5月16日実施）の開催報告について、次号学会誌の「すぷりんぐ」に入稿したことが報告された。
- ・ YEPS委員長より、秋季講演会における「若手会」企画行事の内容について整理し、次回理事会で審議することが報告された。
- ・ 平成28年度「若手地下水研究助成」の最終報告書を提出できなかった1名については、9月には

提出することの確約を得ており、確実に理事会に提出してもらうことが報告された。

#### 9. 技術者継続教育委員会（資料 11）

- ・ 技術者継続教育委員長より、ジオスクリーニングネット掲載行事、CPD 登録申請状況について報告された。
- ・ 技術者継続教育委員長より、JABEE の 2017 年度定時社員総会（5 月 26 日実施）へ参加したことが報告された。

#### 10. 会計委員会（資料 12）

- ・ 会計委員長より、第 1 回会計委員会（5 月 23 日実施）の実施内容について報告された。
- ・ 会計委員長より、公益認定対応（事業報告・決算の提出）について報告された。
- ・ 会計委員長より、次回学会誌（59 巻 3 号：8 月号）に総会資料（決算報告、予算）を入稿したことについて報告された。
- ・ 会計委員長より、収入・支出状況（6 月 21 日現在）について報告された。

#### 11. 総務委員会（資料 14-5）

- ・ 総務委員長より、正会員の年齢構成、退会理由等について取りまとめたことが報告された。

#### 12. 水循環基本計画対応による会員増加構想（資料 16）

- ・ 蛭原理事より、「水循環基本計画対応による会員増加構想案」について要旨が報告された。詳細は次回理事会で優先的に議論することとなった。

以上をもって議事が終了したので、議長は 18 時 45 分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2017 年 8 月 5 日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：谷口 真人



監 事：深田 園子

